

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病と傷害3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	1期	澤田 海彦		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門基礎分野	疾病と傷害		座学	1	10		
科目概要							
多くの患者は、複数の慢性疾患および合併症を有し、多種類の薬を使用していることが多い。柔道整復師として患者の治療にあたるには、患者の有する疾患の既往、現状、合併症や医師から受けている治療、服用中の薬などについて十分な情報と知識を習得する必要がある。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として患者を正しく理解し、治療できるようになるために、各臓器に起こる代表的な疾患の基礎的知識を習得する。						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	消化器(肝胆臓)、内分泌、血液・造血管、に起こる代表的な疾患および代謝疾患の 1. 原因を列挙することができる。 2. 病態を述べることができる。 3. 徴候を列挙することができる。 4. 診断の概要を述べるすることができる。 5. 合併症・予後について述べるすることができる。 6. 治療についての概略を理解する。					
履修に必要な予備知識や技能							
授業内容を理解するためには生理学・病理学概論で学習した関連事項についてノート、教科書などで復習してから授業に臨むこと。疾病と傷害1 で学習した所見と各疾患との関連を結び付けて理解すること。							
教科書・参考書							
教科書:一般臨床医学 改訂第3版 参考書:生理学 改訂第4版、							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	C. 消化器(肝胆臓)疾患				142~150		
第2回	C. 消化器(肝胆臓)疾患				150~156		
第3回	D. 代謝疾患				156~165		
第4回	D. 代謝疾患				165~172		
第5回	E. 内分泌疾患				172~181		
第6回	E. 内分泌疾患				181~185		
第7回	F 血液・造血管疾患				185~190		
第8回	F 血液・造血管疾患				190~195		
第9回	F 血液・造血管疾患				195~197		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
医師免許取得(昭和43年)後、内科医師として、大学病院および公立病院で、医学生・研修医の指導をよび、多数の外来、入院患者の診療を担当した。							
メールアドレス							
sawada-t@nihonisen.ac.jp							